

特活) 歯科医学教育国際支援機構 ニュースレター 2023年9月号

特集: ラオスの経済危機

現在、ラオスの経済が非常に厳しいことが新聞などで報道されています。コロナ禍終了後にラオスを訪ねましたが、首都ビエンチャンのゴーストタウンのような佇まいには確かに驚きました。ラオスの経済の足枷になっているのが貧困、対外債務そして不発弾とされています。一日7.4ドル以下で過ごすいわゆる貧困層が2009年で93%、その10年後の2019年で83%と相変わらず非常に高い数字です。富のアンバランスを示すジニ係数も2018年で0.38とラオスの経済格差も深刻です。共産党一党支配のラオスでは、富が党員など政治的エリートに偏っている事も国民の不満となっています。対外債務も深刻で、特に中国への債務が突出しており、債務の半分は中国だと言われています。2020年の対外債務は約2兆4000億円でこれも健全な経済発展の障害になっています。不発弾の問題は根が深く、ベトナム戦争の後遺症を引きずっています。1964年から1972年の間、米軍によるラオスへの空爆が53万回に及んだ事はほとんど知られていません。そして、その3割が不発弾で、貧困レベルの高い46の地域のなんと42の地域で不発弾が残留し、毎年被害者が出、農地開発の障害にもなっています。このような現実も日本で報道されることはほとんどありません。ラオスには中国やロシアのような独裁者はいませんが、やはり政治的独裁は様々な問題を引き起こします。例えば、最新の報道の自由ランキングでは180カ国中160位とロシアと肩を並べる酷さです。因みに日本は68位と自慢できる順位ではありません。政治の腐敗も深刻です。「腐敗認識指数2022」では128位と下位を低迷しています。日本は18位とまあまあ先進国のレベルを保っています。このように経済を含め、問題山積なラオスですが、それだけ「良心の支援」が大切です。医療系は直接的にラオス国民と接する事が出来、穏やかな性格なラオス人の歯科医療による健康支援に皆様のご協力を賜われたら幸甚です。(文: 宮田 隆)

ラオスで得意の分野を講義して下さい。ボランティア教員大募集中

現在、ビエンチャン Phone Hong 地区にあるビエンチャン県立公衆衛生学校(旧テクニカルナーシングスクール)において歯科医学を教える教員を募集しています。待遇は完全ボランティアですが、愛すべくラオスの人たちのためによりしくお願い致します。講義の詳細はOISDE 本部と直接ご相談下さい。電話は 080-6703-7685、あるいはメール oisdetokyo@gmail.com までお願い致します。

スタディ・ツアーの募集

来たる11月3日より7日まで理事の高山先生がラオスを訪問します。同行してラオスの現況を見聞したい方は参加が可能です。現地での案内、観光もセットされます。ご希望の方は電話、080-6703-7685、あるいはメール oisdetokyo@gmail.com までお願い致します。

特活) 歯科医学教育国際支援機構 〒606-8335 京都府京都市左京区岡崎天王町 31 インベリアルカシア 202 Tel: 080-6703-7685 Mail :oisdetokyo@gmail.com